



ヒューストンの恒例イベント紹介 航空ショー: *Wings over Houston*

ヒューストンに暮らしていると、春のロデオであったり独立記念日の花火であったり、この時期にはこれという行事がありますよね。そんな毎年恒例の催し物の1つに秋の航空ショーがあります。その名も”Wings over Houston”。今回は過去の参加体験を元にイベントの魅力を紹介します。

いつ、どこで？

Wings Over Houstonは毎年10月頃に開催されている航空ショーで、会場はヒューストン南東にあるEllington Airportです。市の中心部、ダウンタウンからだとI-45に乗って南におよそ20マイル弱。ガルベストンに行く途中、あるいはNASAの宇宙センターに行く手前といえばおおよその場所がイメージできるかもしれません。お隣にはLone Star Flight Museumもあり、飛行機に縁の深い場所です。

例年土日の2日間開催が基本で、昨年は10/9-10に開催されました。今年は10/29-30に予定されています。(2020年はコロナ禍のため駐車場からの飛行展示観覧のみ)



何が見られるの？

エアショーというと曲芸飛行など、実際に飛行機が空を飛んでいるのを見るのがメインになりますが、地上に並べられた飛行機を間近で見ることができる地上展示も充実しています。もちろん売店でのグッズ販売などもありますし、軍人さんのアマチュアバンドの演奏が披露されたこともあります。お子さんが遊べるエリアも用意されており、家族で楽しむことができるイベントです。



お子様向け遊具

新しい飛行機、昔の飛行機

米軍が全面協力している行事でもあり、展示される飛行機は軍用機が多いのですが、現役の戦闘機や輸送機などの他に、第二次世界大戦の頃の機体を復刻したレストア機も多数展示されています。また2021年にはNASAの研究機も展示されるなど、めったに見られない飛行機に出会えるのもこのイベントの魅力です。なお、年によって展示される飛行機は異なりますので、本ページに掲載された飛行機が今年も展示されるとは限らない点はご注意ください。



F16戦闘機



迫力のC5輸送機



NASAの研究機

迫力の飛行展示

飛行展示では米空軍のアクロバット飛行隊であるThunderbirdsは見逃せません。また年によって機種は異なりますがF22やF35などの最新鋭機が飛ぶ姿も至近距離からみることができます。そして毎年大人気なのがTora! Tora! Tora! と題された旧日本軍機&米軍機の飛行展示。名前で気づいた人もいるかと思いますが、真珠湾攻撃の再現がテーマになっています。奇襲された側のアメリカ人にとって忌まわしい記憶なのでは？と思うところですが、飛行機の動きに合わせて地上で爆薬を爆発させるなど迫力満点のショーになっており、みなさん楽しんで鑑賞しています。

なお、飛行展示を近くから長時間見たい場合は、通常の入場料とは別に有料の観覧席を予約することもできます。またThunderbirdsのパイロットさんは飛行展示の終了後、観覧席の近くに来てくれますので、サインをもらうチャンスもあります。



時代の異なる3機の競演



復刻したゼロ戦

アクロバット飛行も充実

お出かけの際は

最後に注意事項ですが、10月とはいえまだ暑い日が続きます。屋外イベントなので帽子や日焼け止めは必須です。また熱中症に気をつけて水分補給を忘れないようにしましょう。きっとヒューストン生活の思い出に残る1日になるでしょう。

(編集部 鶴飼 信)